

全国学力・学習状況調査結果から

1 宝塚市全体の結果について

市立全小中学校において、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。教科に関する調査の結果は、小・中学校ともに概ね全国平均を上回りました。その一方で、質問紙調査結果からは、日々の生活習慣、学習習慣等に関していくつかの課題が見られました。

なお、この調査における「平均正答率」は、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎません。教科の正答率だけに注目するのではなく、この結果を基に子どもたちの学力向上に向けて、学校や家庭が共に取り組みを進めていくことが大切であると捉えています。

2 調査の概要 平成31年（2019年）4月18日（木）実施

(1) 対象学年及び受検者数：全小学校第6学年 1,997人 全中学校第3学年 1,680人

(2) 調査内容 ア. 教科に関する調査：「国語、算数・数学、英語（中学3年生のみ）」

※ 本年度調査より、A「主として知識」、B「主として活用」の区別が無くなりました。

イ. 質問紙調査：生活習慣・学習習慣・教科への関心等に関する調査

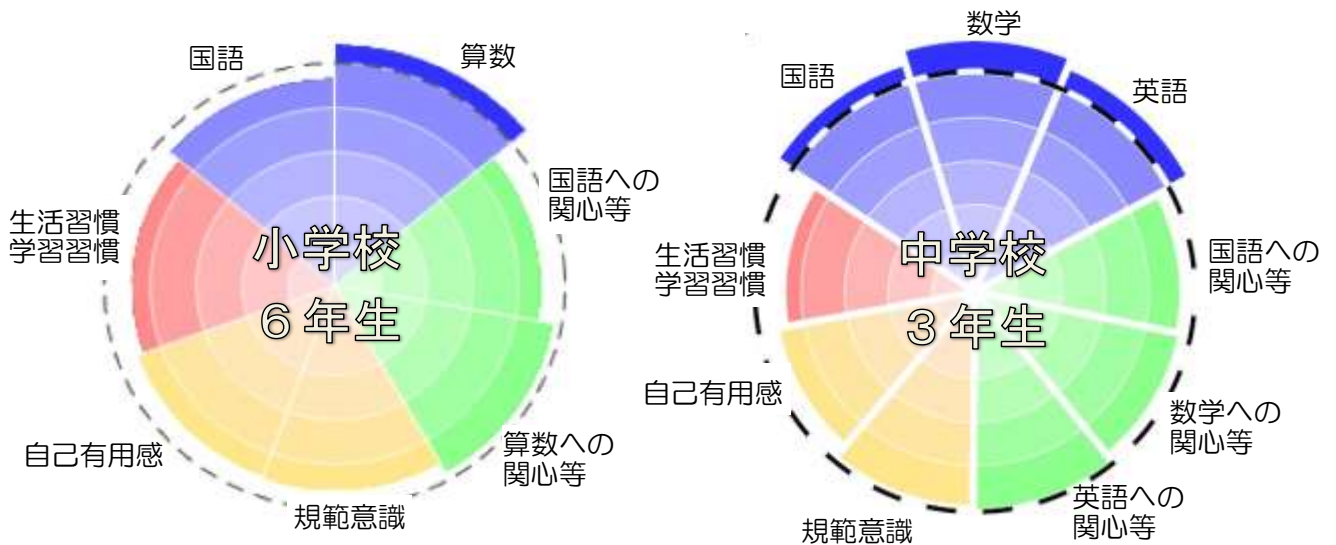
3 調査結果の概要

	小学校6年生		中学校3年生	
教科	国語	おおむね良好	国語	おおむね良好
	算数	良好	数学	良好
	—	—	英語	良好

教科に関する調査結果の段階の見方	
段階	全国平均を100とした場合の本市の割合
極めて良好	115以上
良好	105以上115未満
おおむね良好	95以上105未満
課題あり	95未満

チャート図

- ・ ----- は全国平均を示しています。
- ・ 青いグラフは教科に関する調査結果、その他は児童生徒質問紙調査からの結果を示しています。



4 教科に関する調査結果

	小学校6年生	中学校3年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きなど、基礎基本は身に付いています。 資料を読み込み、内容を理解して適切に回答する力は身に付いています。 会話の中で相手の意図を汲み取り、内容を理解する力、及びその会話の中から自分の考えを表現する力に課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 封筒の表書きの宛名を記入するなど、生活に必要な基本的な知識については概ね理解できています。 内容を的確に捉えてまとめる力や、条件に合わせて自分の考えを文章にまとめる力に課題が見られます。
算数 数学	<ul style="list-style-type: none"> 四則計算など、基礎基本は定着しています。 解き方や考え方を記述して説明する力に課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の学習は定着しています。 問題の主旨を捉え、数学的な表現を用いて説明する力に課題が見られます。
英語		<ul style="list-style-type: none"> 英文を適切に整えるなど「書くこと」に関しては概ね理解できています。 日常的な英会話を「聞くこと」に関して、情報を正確に聞き取る力に課題が見られます。